

浜岡原子力発電所4号機 使用済燃料貯蔵プール内の確認について(続報)

2023年7月18日

当社は、浜岡原子力発電所4号機 原子炉建屋4階(放射線管理区域内)において、ゴム状の破片を発見した件(2023年6月23日お知らせ済)について、使用済燃料貯蔵プール(以下、「燃料プール」とする。)(注)内の詳細な確認が完了したため、その結果について、お知らせします。

事象の概要	<p>2023年6月21日、4号機原子炉建屋4階(放射線管理区域内)において、当社社員が燃料取替機の操作前確認をおこなっていたところ、燃料取替機上でゴム状の破片を発見しました。この破片は燃料プール内を確認する双眼鏡の鏡筒部が破損し、脱落したものであることがわかりました。</p> <p>その後、同4階(燃料プールを除く)を確認しましたが、当該双眼鏡破損部の破片の一部は見つかりませんでした。</p>
燃料プールの確認結果	<p>当社は、見つかっていない破片が燃料プール内へ落下した可能性も考慮し、7月11日から14日にかけて燃料プール内を詳細に確認しました。その結果、燃料プール内に当該双眼鏡の破片は確認されませんでした。</p> <p>このため、当該破片は作業に伴う現場の片付け、清掃の際に処分されたものと推定しています。</p> <p>仮に、当該破片が燃料プール内に落下していたとしても、想定される事象について評価を行っており、燃料およびプラント設備ならびに水質に影響を与えるおそれがないことを確認しています。</p> <p>当該双眼鏡の鏡筒部が破損した原因は、外観の状況から経年劣化によるものと考えています。今回の事象は、当社社員が使用する双眼鏡の外観点検を徹底できておらず、鏡筒部の経年劣化に気づけなかったことが原因です。</p> <p>今後は、双眼鏡を含めた持ち込み品の外観点検を徹底するため、作業前チェックシートを見直すとともに、異物侵入防止に関する教育を継続して実施します。さらに、本事象を風化させないよう失敗事例集に反映することで再発の防止に努めてまいります。</p>

注 使用済燃料貯蔵プールは、燃料や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。

以上